

令和2年12月1日

学部生・大学院生の皆さんへ

大分県立看護科学大学長

新型コロナウイルス感染症の状況と感染拡大防止に関する注意について

早いもので、もう12月になります。

皆さんの頑張りのおかげで、無事に、第4段階の実習（成人・老年・小児・母性・精神看護学実習）を終えることができました。

しかし、全国的な状況を見ると、残念ながら感染が急拡大しています。また、大分県でも感染者が増えています。

大分県のホームページには、県の新型コロナウイルス感染症対策本部の『これまで、県民の皆様のご理解とご協力により、最も切迫度が低い「ステージ1」に留めることができていましたが、病床利用率や感染経路不明者割合等の状況から、医療への負荷が蓄積しつつある「ステージ2」へ移行したと考えざるを得ません。』というコメントが、掲載されています。

<https://www.pref.oita.jp/site/covid19-oita/covid19-oita-0721.html>

急速に感染が拡大している理由として、『冬季に入って温度や湿度が低下することに加え、換気が不十分となり、新型コロナウイルスに感染しやすい状況になっている』ことが挙げられています。私たちも、さらに意識を高めて感染拡大防止に取り組む必要があります。

そこで、改めて皆さんに注意喚起をします。本学は医療に携わる人材を育成する教育研究機関です。12月2日の卒論発表会の後、7日からは、2年生の看護アセスメント学実習と大学院助産学コースの実習が予定されています。また、予防的家庭訪問実習で、協力者さん宅への訪問もあります。毎日の生活を十分注意して過ごしてください。具体的には、下記です。

- 1 入念な手洗いや咳エチケット、マスクの着用の徹底、フィジカルディスタンスの確保や「3密」の回避など、基本的な感染防止対策の徹底
- 2 こまめな換気
- 3 会食時の配席の工夫、大声や密集・密接での会話の回避、会話時のマスク着用の徹底
- 4 体調管理に留意し、発熱や風邪症状などがある場合は休み、外出や登校を控える
- 5 毎日検温し、継続的に記録する（微熱や風邪症状等で大学を休む時にも、体調管理表の記録により救済措置を講じる）
- 6 旅行は、各地域の感染状況等に留意し慎重にする。教務学生グループに届け出る（学部生：キャンパススクエアのアンケートより「県外への移動届」への回答、院生：グーグルフォームより「県外への移動届」）。

※特に、ライブハウス・カラオケボックス・飲食店などで十分な感染拡大防止策がとられていない店舗への出入りは避けてください（アルバイトを含む）。

皆さんの努力が活きて、実習等が無事に終了し、冬休みが迎えられること、進級・卒業できることを願っています。頑張りましょう。